



## 感謝

学校長 有村 恵

心地よい日和となってきました。それと共に桜の花芽がほころびはじめ、春へと移り変わっているようです。「春は出会いと別れの季節」と言われます。振り返ってみると、子供たちは新しい先生との出会いがありました。鹿児島県で小学校は479校、鹿児島市では78校の小学校があります。その中で出会いました。こうして考えてみると、なかなかの確率となります。そう簡単には今の先生と出会えません。どうでしょうか。改めて考えてみると、まさに「奇跡の出会い」ではないでしょうか。

さて、年齢を重ねるにつれ、一年が過ぎていく時間的な経過は年々早くなっていくような気がします。これをジャネーの法則といいます。「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」という現象を、心理学的に説明したものです。例えば、50歳の人間にとって一年の長さは人生の50分の1ほどですが、5歳の人間にとっては5分の1に相当します。つまり、50歳の人にとっての10年間は、5歳の人にとっての一年間にあたり、5歳の人にとっての一日は、50歳の人にとっての10日にあたることとなります。生きてきた年数によって一年の相対的な長さがどんどん小さくなることによって、時間が早く感じるというわけです。人は経験したことがないことをやっているときは、それが強く意識に残り時間が長く感じます。反対に、慣れてしまうと時間の長さが気にならなくなり、あっという間に時が過ぎたように感じます。子どもの頃は初めて体験することばかりで、毎日が新鮮で新しい出会いや発見があります。しかし、大人になるにしたがって、新しい経験をする機会が失われます。大人になると時間があっという間に過ぎ去ってしまったと感じるのは、日々の生活に新鮮味がなくなるからという考え方もあるようです。

令和5年度。我が校の子供たちがそれぞれが大きく成長しました。「十人十色」の子供たちです。日々間違いなく伸びていることは確かです。このことは、学校のみだけでは到底達成することはできません。保護者の理解と御協力がなければ成し得なかったことです。そのことから申しますと、まずは保護者の皆様方に感謝です。

次に地域の皆様方の支援もいただきました。地域の皆様方がコロナ渦明けということもあり、色々な場面で支援や応援を頂きました。これも子供たちには大きな自信となり、頑張ろうとする気持ちを醸成する要因となったようです。このことについても、併せて感謝です。

子供たちの伸びはまだまだ無限大ですし、これから益々伸びる可能性を秘めています。子供時代の瑞々しい感性を大切に、これからも学んでほしいと願っています。

最後になりましたが、本年度多くの皆様方が吉田小にお寄せいただきました御協力に対しまして心から御礼申し上げますとともに、令和6年度も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 卒業おめでとう！ 中学校でも頑張っ！

明日、3月22日に本校体育館で卒業式を行います。13名の卒業生がこの吉田小学校を旅立っていきます。これまで、最高学年として委員会活動や学校行事など本校の中心となって大いに力を発揮してくれました。いつも明るく、そして元気で、まとまりの良い学年だなと思うことでした。卒業に向けて、タイムカプセルの準備や卒業文集作成など大変忙しい3学期ではありましたが、一日一日を大切に、仲間と協力しながらこれまで進めてきました。この吉田小学校を巣立ちゆく卒業生が小学校生活で学んだ多くのことを中学校でも活かしてくれることと期待しています。

みなさんの今後の活躍を心から祈っています。

「頑張れ！卒業生！ 中学校でも活躍を」



### 6年生へ～先生方おすすめの本～

先生方から6年生へ向けて読んでほしいおすすめの本を6年生教室から図書室へとつながる階段掲示板に掲示しています。これから新しい生活がスタートする6年生にぜひ読んでほしい様々な本を紹介しています。

その中から一つ、「はじまりの日」という本を紹介します。世界的に有名なシンガーソングライター、ボブ・ディランの歌を絵本にした作品です。「今日も明日もきみのはじまりの日」というフレーズがあるようにこれからの夢と希望、願いがたくさんつまった素敵な絵本です。

新しいステージに立つ6年生が活躍できますように…。そして、いつの日か夢がかないますように…。



### ～1年を振り返って～

本校に4月に赴任して1年が経とうとしています。振り返るとあっという間の1年間だったように思います。4月…。元気いっぱいの吉田っ子からの「おはようございます」の挨拶に元気をもらいました。3年間学校現場を離れていた私は「やっぱり学校はいいな。」と改めて思うことでした。子供たちから元気をもらうだけでなく、子供たちが日々安心して楽しく学校生活を送れるように職員室から温かく見守り、必要に応じて声掛けをしています。子供たちが来室しやすい・相談しやすい職員室を目指しているところです。

以前、業者の方が「学校の先生は良いですね。いつも目がキラキラと輝いている子供たちと接することができて…。」と話をされたのを今でも印象深く覚えています。いつも身近に接している子供たち…。素直でキラキラと輝く目をした子供たちと接することで、自然と元気をもらっていることに気づきました。そんな吉田っ子の子供たちを、これからも学校・家庭・地域が連携して大切に見守っていきましょう。1年間「おもいがわ」をお読みいただきありがとうございました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。(教頭)